



礼
拝

A. P. キラス著

A・P・ギブス著

礼拝

—クリスチャンの最高の任務—

伝道出版社

WORSHIP

—The Christian's Highest Occupation—

By
A. P. Gibbs.

The Evangelical Publishing Depot

内 容 目 次

緒 言

ジヨージ・M・ランデイスの序文

第一章 礼拝の意義 ……………七

- 一、いくつかの適切な定義……………七
 - 二、新約聖書で「礼拝」と訳されている単語……………一一
 - 三、聖書でこの単語が初めて出てくる箇所……………一二
 - 四、祈りと賛美と礼拝との区別……………二一
 - 五、礼拝とは神にささげるもの……………二五
- A、イスラエル人の例（申命記二六・一〜11）……………二五
- B、博士たちの例（マタイ二・一〜12）……………三六
- C、ベタニヤのマリアの例（ヨハネ一・一〜11）……………四六

六、聖なる香……………	五八
七、旧約聖書における礼拝という言葉の根本的な意味……………	六七

第二章 礼拝の重要性……………七二

一、それは律法の第一の戒めであった……………	七二
二、神の民の集まりにおける礼拝の優位……………	七四
三、旧約のひな型における礼拝の優位……………	七六
1、幕屋の叙述における礼拝の優位……………	七七
2、イスラエルの宿営の順序における礼拝の優位……………	七八
3、イスラエルの三分区における礼拝の優位……………	七九
4、五つの主要な供え物における礼拝の優位……………	七九
5、イザヤの見た幻における礼拝の優位……………	八二
四、モーセは礼拝の重要性を学んだ……………	八三
1、彼は神に選ばれた人であった……………	八三
2、彼は神のために贖われた人であった……………	八五
3、彼は神とのまれな親しさ、および交わりを享受していた……………	八五
4、彼はもっと十分な啓示を神に求めた……………	八六
5、彼は神から豊かな用意を与えられた……………	八八

6、彼は驚くべき神の啓示を与えられた……………九六

7、彼は神に真剣な礼拝をささげた……………九八

五、ダビデは礼拝の重要性を悟っていた……………九九

六、神の御子の啓示……………一〇一

1、礼拝の場所……………一〇二

2、礼拝の対象……………一〇六

3、礼拝者の関係……………一〇八

4、礼拝の性格……………一〇九

5、礼拝の時……………一一三

6、礼拝するための力……………一一五

7、礼拝の重要性……………一一六

七、礼拝は永遠の任務である……………一一八

第三章 礼拝に関する聖書の権威……………一二二

一、礼拝についての間違った観念……………一二三

1、人間の伝統……………一二三

2、人間の便宜……………一三〇

3、教会の声……………一三七

4、自分の良心の命令……………	一四〇
二、礼拝についての間違った評価……………	一四三
1、唯物論的……………	一四三
2、宗教的……………	一四五
3、教えの徹していない信者……………	一四八
三、神の言葉がわれらの唯一の権威である……………	一四九
1、旧約聖書のなかにあるもの……………	一五一
2、新約聖書のなかにあるもの……………	一五一
新約聖書の集会の二、三の特徴……………	一五三
第四章 礼拝の対象……………	一五八
一、礼拝してはならないもの……………	一六二
1、偶像……………	一六二
(a) 自己……………	一六二
(b) 金銭……………	一六二
(c) 実業(商売、職業)……………	一六二
(d) 娯楽……………	一六二
(e) レクリエーション……………	一六二
(f) 家族……………	一六二
(g) 所有財産……………	一六二
(h) 勢力……………	一六二
(i) 学問……………	一六二
2、人間……………	一七六
3、御使いたち……………	一七八
4、自然……………	一八〇

二、神が礼拝の対象であるべきである……………一八二

1、御父を礼拝すべきである……………一八二

(a) その本質のゆえに……………一八三

(b) そのみわざのゆえに……………一八六

2、御子を礼拝すべきである……………一九〇

(a) その本質のゆえに……………一九一

(b) そのなされたみわざのゆえに……………一九四

(c) 今なされているみわざのゆえに……………二〇二

(d) 後になさろうとしているみわざのゆえに……………二〇五

3、聖霊を礼拝せよとは教えていない……………二〇九

第五章 礼拝の土台……………二二二

一、贖い……………二二二

二、家族関係……………二二八

三、代理……………二二九

第六章 礼拝のための力——聖霊……………二二九

一、聖霊の本質……………二二九

二、そのみわざ……………二二二

1、創造との関係……………二二二

2、聖書との関係……………二二二

3、キリストとの関係……………二二三

4、人の世との関係……………二三四

5、信者との関係……………二三五

6、教会との関係……………二三七

7、礼拝との関係……………二三八

8、奉仕との関係……………二四三

第七章 礼拝の方法……………二四四

一、礼拝は靈的であるべきである……………二四六

二、礼拝は真実であるべきである……………二四九

三、礼拝は知的であるべきである……………二五五

1、聖書に関して……………二五七

2、教会の真理に関して……………二五八

3、礼拝のための集会に関して……………二五九

第八章 礼拝の妨げ……………二六三

一、我意……………二六四

二、この世的であること……………二六六

三、批判的精神……………二七〇

四、怠慢……………二七三

五、あせり……………二七五

六、分派心……………二七八

七、形式主義……………二八一

八、ゆるそうとしない精神……………二八三

九、誇り……………二八四

第九章 礼拝の場所……………二八六

一、靈的には至聖所……………二八七

二、場所的にはどこでもよい……………二九二

第十章 礼拝の効果 ……………二九五

一、神が栄光を受けられる……………二九五

二、信者が祝福される……………二九七

三、集会の徳が高められる……………三〇〇

四、未信者にも神の實在が示される……………三〇一